【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【公開番号】特開2005-58672(P2005-58672A)
【公開日】平成17年3月10日(2005.3.10)
【年通号数】公開・登録公報2005-010
【出願番号】特願2003-296438(P2003-296438)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｈ　3/04　(2006.01)
Ａ６１Ｇ　5/02　(2006.01)
Ｂ６２Ｈ　7/00　(2006.01)
Ｂ６２Ｋ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｈ　3/04
Ａ６１Ｇ　5/02　５０１
Ｂ６２Ｈ　7/00
Ｂ６２Ｋ　1/00

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月15日(2006.8.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】歩行補助器具
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
管状の支柱部と、前記支柱部から二股状に突出形成されたアーム部とからなるフォークと、
前記支柱部の上端に上下移動可能に取り付けられたシートと、
前記アーム部に回転自在に取り付けられた車輪と、
前記車輪の車軸に接続され、一方向の回転が付与された場合にその回転を前記車軸に伝達し、他方向の回転が付与された場合には前記車軸に対し空転するクラッチ手段と、
前記クラッチ手段に接続され、一の方向の操作により前記クラッチ手段を介して前記車輪を回転させ、他の方向の操作の際には前記クラッチ手段が空転する操作桿とを有してなることを特徴とする歩行補助器具。
【請求項２】
請求項１記載の歩行補助器具において、前記フォークに足置き台を設けたことを特徴とする歩行補助器具。
【請求項３】
請求項１又は２記載の歩行補助器具において、前記車輪の回転を制御するブレーキを前記フォークに取り付けると共に、前記ブレーキを操作するブレーキレバーを前記操作桿に設けたことを特徴とする歩行補助器具。

【請求項４】
請求項１～３の何れか１項に記載の歩行補助器具において、前記支柱部の上端に上下移動可能なスコヤを取り付け、前記スコヤ上端に前記シートを取り付けることを特徴とする歩行補助器具。
【請求項５】
請求項１～４の何れか１項に記載の歩行補助器具において、前記歩行補助器具は、前記アーム部の下端が固定され、前後と側方にそれぞれ補助輪を備えるフットパイプをさらに有することを特徴とする歩行補助器具。
【請求項６】
請求項５記載の歩行補助器具において、前記フットパイプに取り付けられ上方に延びる背もたれパイプと、前記背もたれパイプに取り付けられた布状の背もたれを有することを特徴とする歩行補助器具。
【請求項７】
請求項６記載の歩行補助器具において、前記背もたれは、当該歩行補助器具の使用者の重心位置を矯正する矯正バンドを有することを特徴とする歩行補助器具。